

平成21年3月期 第2四半期決算短信

平成20年11月13日

上場会社名 ダイニック株式会社
 コード番号 3551 URL <http://www.dynic.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長
 四半期報告書提出予定日 平成20年11月14日

上場取引所 東

(氏名) 細田 敏夫
 (氏名) 卯野 明

TEL 03-5402-3132

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第2四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第2四半期	22,635	—	654	—	553	—	216	—
20年3月期第2四半期	22,667	1.5	910	△12.2	814	△9.3	443	△11.3

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第2四半期	5.08	—
20年3月期第2四半期	10.45	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	%
21年3月期第2四半期	45,226	—	11,599	25.6	—	—	273.27	—
20年3月期	45,251	—	11,829	26.1	—	—	278.44	—

(参考) 自己資本 21年3月期第2四半期 11,590百万円 20年3月期 11,812百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
20年3月期	—	—	—	6.00	6.00
21年3月期	—	—	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	6.00	6.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	45,000	△2.5	1,400	△22.8	1,200	△20.2	550	26.1	12.97

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
 新規 0社(社名) 除外 0社(社名)
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有
 (注) 詳細は、3ページ[定性的情報・財務諸表等] 4. その他をご覧ください。
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの
 ① 会計基準等の改正に伴う変更 有
 ② ①以外の変更 無
 (注) 詳細は、3ページ[定性的情報・財務諸表等] 4. その他をご覧ください。
- (4) 発行済株式数(普通株式)
 ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第2四半期 42,523,735株 20年3月期 42,523,735株
 ② 期末自己株式数 21年3月期第2四半期 109,999株 20年3月期 101,463株
 ③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年3月期第2四半期 42,417,554株 20年3月期第2四半期 42,427,137株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- (1) 平成20年5月22日発表の通期連結業績予想は、平成20年10月24日に別途開示いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」にて修正を行っております。業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成しており、実際の業績等は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。
- (2) 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

・ 定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間(平成20年4月1日から平成20年9月30日)におけるわが国の経済は、米国に端を発する金融市場の混乱や為替の変動、原油・素材価格の上昇が続き、景気の減速感がますます強まるなか推移しました。

このような状況のもと、当社グループにおきましては、とりわけ原油・原材料価格の更なる上昇が収益圧迫要因となりました。販売価格への転嫁も厳しい情勢のなかで、原材料価格アップを吸収すべく引き続き収益改善への取り組みを強力に進めてまいりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は22,635百万円(前年同期比0.1%減)、営業利益は654百万円(前年同期比28.1%減)、経常利益は553百万円(前年同期比32.1%減)、四半期純利益は216百万円(前年同期比51.4%減)となりました。

事業の種類別セグメントは、次のとおりであります。

当社グループは、出版・情報関連事業(主としてブッククロス、文具紙工品、プリンターリボン、食品包材等の製造販売)および生活・工業用途関連事業(主としてカーペット、壁装材、自動車用内装材、フィルター、接着芯地および医療用パップ剤用フィルム加工等の製造販売)において事業を営んでおります。なお、セグメントの売上高には、セグメント間の内部売上高または振替高が含まれております。

出版・情報関連事業

出版・文具紙製品関連部門では、ビニールペーパーやオレフィンフィルム等の文具用製品は堅調に推移したものの、書籍出版表紙材においては布クロス・紙クロスとも減収となりました。

情報関連部門では、主力のプリンターリボンで熱転写リボンが横ばいとなりましたが、印刷用途フィルムがオリンピック開催による受注もあって増収となりました。名刺プリンター関連商品やビジネスフォーム事業が振るわず、総じてこの部門は減収となりました。

また、その他の部門におきましては、食品包材、蓋材等が微増収となりました。

以上の結果、当セグメントの売上高は11,511百万円(前年同期比2.1%減)、営業利益は648百万円(前年同期比7.6%減)となりました。

生活・工業用途関連事業

インテリア・住宅関連部門では、新設住宅着工件数の減少など業界不振もあり、壁装材は減収となりました。床材でもイベント用フローカーペットの受注が減少し、この部門は減収となりました。

車両・工業用途関連部門は、工業用途分野においては脱臭などの機能性不織布フィルターが家電用や自動車用(キャビンフィルター)で増収となりました。また、フレキシブルコンテナなどの重布やレザー製品も堅調に推移し、この部門は増収となりました。

ファンシー商品・その他の部門におきましては、ファンシー商品をはじめ医療用パップ剤用フィルム加工、食品用鮮度保持剤におきましても堅調に推移いたしました。

尚、当セグメントは、原材料価格アップの影響が大きく販売価格への転嫁が厳しく、引き続きコストダウン活動を推進しております。

以上の結果、当セグメントの売上高は11,513百万円(前年同期比2.3%増)、営業利益は351百万円(前年同期比32.2%減)となりました。

※ 定性的情報における前年同四半期増減率は、参考として記載しております。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比較して24百万円減少し、45,226百万円となりました。これは主に流動資産の受取手形及び売掛金が519百万円増加したものの、現金及び預金が421百万円減少したことによるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末と比較して206百万円増加し、33,627百万円となりました。これは主に長期借入金が増加し、貸借取引担保金が384百万円減少したことなどによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末と比較して230百万円減少し、11,599百万円となりました。これは主に利益剰余金が114百万円、為替換算調整勘定が79百万円それぞれ減少したことなどによるものであります。

キャッシュ・フローについては以下のとおりです。

当第2四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益476百万円の計上に加え減価償却費517百万円、仕入債務の増加202百万円に対し、売上債権の増加565百万円、たな卸資産の増加160百万円、そして法人税等の支払282百万円などにより80百万円の収入となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、主に定期預金の預入による支出275百万円、有形固定資産の取得による支出376百万円により、616百万円の支出となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入金の純増額894百万円に対して、短期借入金の純減額199百万円、配当金の支払額255百万円などにより71百万円減少いたしました。

この結果当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、1,611百万円となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

第2四半期連結累計期間における業績の進捗を勘案し、業績予想の見直しを行った結果、平成20年5月22日付当社「平成20年3月期決算短信」にて発表いたしました平成21年3月期の業績予想(連結・個別)を修正しております。

詳細は平成20年10月24日に別途開示しました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(簡便な会計処理)

①一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第2四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

②棚卸資産の評価方法

棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

③固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

④法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理)

①税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。
なお、法人税等調整額は法人税等に含めて表示しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

①四半期財務諸表に関する会計基準の適用

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針(企業会計基準適用指針第14号)」を適用しております。
また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

②連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱いの適用

「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」(企業会計基準委員会平成18年5月17日実務対応報告第18号)を第1四半期連結会計期間から適用し、連結決算上必要な修正を行っております。

なお、この変更による損益への影響は軽微であります。

5. 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成20年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,896,225	2,316,830
受取手形及び売掛金	10,042,759	9,523,471
商品及び製品	3,935,388	3,970,174
仕掛品	910,151	950,765
原材料及び貯蔵品	2,272,228	2,099,112
繰延税金資産	468,119	485,338
その他	487,227	464,600
貸倒引当金	△106,306	△138,851
流動資産合計	19,905,791	19,671,439
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	14,203,400	14,160,445
減価償却累計額	△9,712,485	△9,545,989
建物及び構築物(純額)	4,490,915	4,614,456
機械装置及び運搬具	22,460,008	22,510,008
減価償却累計額	△20,131,096	△20,018,618
機械装置及び運搬具(純額)	2,328,912	2,491,390
工具、器具及び備品	2,634,266	2,616,087
減価償却累計額	△2,345,305	△2,325,700
工具、器具及び備品(純額)	288,961	290,387
土地	11,800,974	11,799,986
建設仮勘定	244,861	82,855
有形固定資産合計	19,154,623	19,279,074
無形固定資産		
のれん	11,313	14,974
その他	68,819	70,636
無形固定資産合計	80,132	85,610
投資その他の資産		
投資有価証券	5,094,081	5,220,158
長期貸付金	53,178	57,877
繰延税金資産	247,403	213,043
その他	882,766	881,139
貸倒引当金	△191,536	△157,438
投資その他の資産合計	6,085,892	6,214,779
固定資産合計	25,320,647	25,579,463
資産合計	45,226,438	45,250,902

(単位:千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成20年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,249,304	9,103,784
短期借入金	9,150,673	9,327,792
1年内償還予定の社債	—	125,000
未払法人税等	277,116	340,628
貸借取引担保金	2,400,110	2,784,272
賞与引当金	4,105	2,253
役員賞与引当金	24,000	60,550
設備関係支払手形	183,305	146,362
その他	1,437,021	1,487,913
流動負債合計	22,725,634	23,378,554
固定負債		
長期借入金	4,578,688	3,737,406
繰延税金負債	63,490	62,433
再評価に係る繰延税金負債	1,716,609	1,716,609
退職給付引当金	4,015,350	3,957,527
役員退職慰労引当金	161,766	184,266
環境対策引当金	78,600	78,600
その他	287,091	306,207
固定負債合計	10,901,594	10,043,048
負債合計	33,627,228	33,421,602
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,795,651	5,795,651
資本剰余金	944,696	944,696
利益剰余金	3,002,018	3,116,456
自己株式	△26,162	△24,241
株主資本合計	9,716,203	9,832,562
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△67,223	△41,144
土地再評価差額金	2,386,364	2,386,364
為替換算調整勘定	△445,009	△365,759
評価・換算差額等合計	1,874,132	1,979,461
少数株主持分	8,875	17,277
純資産合計	11,599,210	11,829,300
負債純資産合計	45,226,438	45,250,902

(2) 【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)
売上高	22,634,525
売上原価	18,099,963
売上総利益	4,534,562
販売費及び一般管理費	3,880,126
営業利益	654,436
営業外収益	
受取利息	10,982
受取配当金	50,425
受取賃貸料	96,681
雑収入	87,146
営業外収益合計	245,234
営業外費用	
支払利息	146,353
為替差損	43,103
雑損失	157,599
営業外費用合計	347,055
経常利益	552,615
特別利益	
固定資産売却益	2,469
投資有価証券売却益	3,166
特別利益合計	5,635
特別損失	
固定資産処分損	5,671
投資有価証券評価損	70,789
その他	6,067
特別損失合計	82,527
税金等調整前四半期純利益	475,723
法人税等	262,886
少数株主損失(△)	△2,731
四半期純利益	215,568

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

当第2四半期連結累計期間
(自平成20年4月1日
至平成20年9月30日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	475,723
減価償却費	516,513
その他の償却額	1,524
のれん償却額	3,661
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△36,550
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△14,351
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△22,500
貸倒引当金の増減額(△は減少)	5,561
受取利息及び受取配当金	△61,407
支払利息	146,353
為替差損益(△は益)	2,978
持分法による投資損益(△は益)	△15,322
投資有価証券売却損益(△は益)	△3,166
投資有価証券評価損益(△は益)	70,789
有形固定資産売却損益(△は益)	△2,469
有形固定資産処分損益(△は益)	5,671
売上債権の増減額(△は増加)	△565,375
たな卸資産の増減額(△は増加)	△160,497
仕入債務の増減額(△は減少)	202,194
未払消費税等の増減額(△は減少)	△33,590
その他	△82,151
小計	433,589
利息及び配当金の受取額	71,536
利息の支払額	△142,814
法人税等の支払額	△282,194
営業活動によるキャッシュ・フロー	80,117
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	△274,730
定期預金の払戻による収入	50,000
有形固定資産の取得による支出	△376,254
有形固定資産の売却による収入	6,298
投資有価証券の取得による支出	△28,839
投資有価証券の売却による収入	6,925
貸付金の回収による収入	4,699
その他	△3,675
投資活動によるキャッシュ・フロー	△615,576
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額(△は減少)	△199,496
長期借入れによる収入	2,325,000
長期借入金の返済による支出	△1,431,029
社債の償還による支出	△125,000
自己株式の取得による支出	△1,921
配当金の支払額	△254,534
賃借取引契約による支出	△384,162
財務活動によるキャッシュ・フロー	△71,142
現金及び現金同等物に係る換算差額	△49,104
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△655,705
現金及び現金同等物の期首残高	2,266,330
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,610,625

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

当第2四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)

	出版・情報 関連 (千円)	生活・ 工業用途関連 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高及び営業損益					
(1) 外部顧客に対する売上高	11,380,314	11,254,211	22,634,525	—	22,634,525
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	131,045	258,676	389,721	(389,721)	—
計	11,511,359	11,512,887	23,024,246	(389,721)	22,634,525
営業利益	648,277	351,361	999,638	(345,202)	654,436

(注) 1 事業区分の方法

事業区分の方法は、市場別に「出版・情報関連」、「生活・工業用途関連」事業としてセグメントしております。

2 各事業区分の主要製品

事業区分	売上区分	主要取扱商品
出版・情報関連	出版・文具紙製品	書籍装幀用クロス、印刷・ビジネス用各種クロス、文具紙工品、パッケージ用化粧クロス
	情報関連	銀行通帳用クロス、コンピューターリボン、フィルムコーティング品、名刺プリンター、表示ラベル用素材、磁気関連製品、有機EL用水分除去シート
	その他	容器密封用アルミ箔、複合フィルム
生活・工業用途関連	インテリア・住宅関連	カーペット、壁装材、天井材、ブラインド
	車輛工業用途	自動車内装用不織布・カーペット、産業用ターポリン、テント地、雨衣、産業用不織布、フィルター
	衣料用途	接着芯地、不織布
	ファンシー商品他	キャラクター商品、縫製加工・成型加工・ウェルダー加工等の各種加工品、耐久性折目加工材、ノウハウの販売、パップ剤用フィルム加工、食品鮮度保持剤
	運送、製造・加工他	商品等運送業、製品製造・加工

【所在地別セグメント情報】

当第2四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)

	日本 (千円)	その他の地域 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高及び営業損益					
(1) 外部顧客に対する売上高	18,648,657	3,985,868	22,634,525	—	22,634,525
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,208,958	835,779	2,044,737	(2,044,737)	—
計	19,857,615	4,821,647	24,679,262	(2,044,737)	22,634,525
営業利益	939,598	64,337	1,003,935	(349,499)	654,436

- (注) 1 本邦以外の国又は地域の区分は地理的近接度によっております。
ただし、各区分に属する売上高及び資産の金額は、全セグメントの売上高の合計の10%未満のため、「その他の地域」として一括して記載しております。
- 2 本邦以外の区分に属する主な国又は地域
- | | | |
|--------|-------|--------------|
| その他の地域 | 北米 | アメリカ |
| | ヨーロッパ | イギリス |
| | 中国 | 中国 |
| | 東南アジア | 香港・台湾・シンガポール |

【海外売上高】

当第2四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)

	東南アジア	その他地域	計
海外売上高(千円)	1,333,711	3,054,530	4,388,241
連結売上高(千円)	—	—	22,634,525
連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	5.9	13.5	19.4

- (注) 1 本邦以外の国又は地域の区分は地理的近接度によっております。
- 2 本邦以外の区分に属する主な国又は地域
- | | |
|-------|--------------|
| 東南アジア | 香港・台湾・シンガポール |
| その他地域 | アメリカ・イギリス・中国 |
- 3 海外売上高は当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

- (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

「参考資料」

前年同四半期に係る財務諸表

中間連結損益計算書

科 目	前中間連結会計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日)		
	金額 (千円)		百分比 (%)
I 売上高		22,667,473	100.0
II 売上原価		17,882,530	78.9
売上総利益		4,784,943	21.1
III 販売費及び一般管理費		3,875,363	17.1
営業利益		909,580	4.0
IV 営業外収益			
1. 受取利息	13,739		
2. 受取配当金	46,520		
3. 賃貸料	96,780		
4. その他	93,485	250,524	1.1
V 営業外費用			
1. 支払利息	166,228		
2. その他	179,456	345,684	1.5
経常利益		814,420	3.6
VI 特別利益			
1. 投資有価証券売却益	32,777		
2. 固定資産売却益	1,443	34,220	0.2
VII 特別損失			
1. 固定資産処分損	15,328		
2. 固定資産売却損	168	15,496	0.1
税金等調整前 中間純利益		833,144	3.7
法人税、住民税 及び事業税	377,957		
法人税等調整額	15,554	393,511	1.7
少数株主利益 (△損失)		△3,628	△0.0
中間純利益		443,261	2.0

中間連結キャッシュ・フロー計算書

科 目	前中間連結会計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日)
	金額 (千円)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前中間純利益	833,144
減価償却費	554,145
その他の償却額	2,143
のれん償却額	3,661
役員賞与引当金の増減額 (減少:△)	△ 25,655
退職給付引当金の増減額 (減少:△)	2,607
役員退職慰労引当金の増減額 (減少:△)	△ 8,896
貸倒引当金の増減額	20,323
受取利息及び配当金	△ 60,259
支払利息	166,228
為替差損益	5,191
持分法による投資利益	△ 7,031
投資有価証券売却益	△ 32,777
有形固定資産売却損益	△ 1,275
有形固定資産処分損	15,328
売上債権の増減額 (増加:△)	△ 1,120,584
たな卸資産の増減額 (増加:△)	61,690
仕入債務の増減額 (減少:△)	△ 139,889
未払消費税等の増減額 (減少:△)	△ 10,912
その他の営業活動	△ 177,125
小計	80,057
利息及び配当金の受取額	73,101
利息の支払額	△ 159,503
法人税等の支払額	△ 466,757
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 473,102
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	△ 50,000
定期預金の払戻による収入	75,002
有形固定資産の取得による支出	△ 355,660
有形固定資産の売却による収入	3,964
投資有価証券の取得による支出	△ 430,891
投資有価証券の売却による収入	32,825
貸付金の回収による収入	4,998
その他の投資活動	42,741
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 677,021
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金純増減額 (減少:△)	1,700,312
長期借入による収入	1,000,000
長期借入金の返済による支出	△ 1,624,530
社債の償還による支出	△ 125,000
自己株式の取得による支出	△ 1,635
配当金の支払額	△ 254,583
有価証券消費貸借契約による収入	138,688
財務活動によるキャッシュ・フロー	833,252
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	39,176
V 現金及び現金同等物の増減額 (減少:△)	△ 277,695
VI 現金及び現金同等物の期首残高	2,560,150
VII 現金及び現金同等物の中間期末残高	2,282,455

セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前中間連結会計期間（自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日）

	出版・情報 関連 (千円)	生活・ 工業用途関連 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高及び営業損益					
(1) 外部顧客に対する売上高	11,638,210	11,029,263	22,667,473	—	22,667,473
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	125,087	226,607	351,694	(351,694)	—
計	11,763,297	11,255,870	23,019,167	(351,694)	22,667,473
営業利益	701,456	517,923	1,219,379	(309,799)	909,580

(注) 1. 事業区分の方法

事業区分の方法は、市場別に、「出版・情報関連」、「生活・工業用途関連」事業としてセグメントしております。

2. 各事業区分の主要製品

事業区分	売上区分	主要取扱商品
出版・情報関連	出版・文具紙製品	書籍装幀用クロス、印刷・ビジネス用各種クロス、文具紙工品、パッケージ用化粧クロス、容器密封用アルミ箔、複合フィルム
	情報関連	銀行通帳用クロス、コンピューターリボン、ファイン・フィルム・コーティング品、名刺プリンター、表示ラベル用素材、磁気関連商品、有機EL用水分除去シート
生活・工業用途関連	インテリア・住宅関連	カーペット、壁装材、天井材、ブラインド
	車輛工業用途	自動車内装用不織布・カーペット、産業用ターポリン、テント地、雨衣、産業用不織布、フィルター
	衣料用途	接着芯地、不織布
	ファンシー商品他	キャラクター商品、縫製加工・成型加工・ウェルダー加工等の各種加工品、耐久性折目加工材、ノウハウの販売、パップ剤用フィルム加工、食品鮮度保持剤
	運送、製造・加工他	商品等運送業、製品製造・加工

【所在地別セグメント情報】

前中間連結会計期間（自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日）

	日本 (千円)	その他の地域 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高及び営業損益					
(1) 外部顧客に対する売上高	18,373,650	4,293,823	22,667,473	—	22,667,473
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,329,254	844,666	2,173,920	(2,173,920)	—
計	19,702,904	5,138,489	24,841,393	(2,173,920)	22,667,473
営業利益	1,165,093	105,480	1,270,573	(360,993)	909,580

(注) 1. 本邦以外の国又は地域の区分は地理的近接度によっております。

ただし、各区分に属する売上高及び資産の金額は、全セグメントの売上高の合計の10%未満のため、「その他の地域」として一括して記載しております。

2. 本邦以外の区分に属する国または地域

その他の地域 北米……………アメリカ
ヨーロッパ……………イギリス
中国……………中国
東南アジア……………香港・台湾・シンガポール

【海外売上高】

前中間連結会計期間(自平成19年4月1日至平成19年9月30日)

	東南アジア	その他地域	計
I 海外売上高(千円)	1,511,115	3,168,538	4,679,653
II 連結売上高(千円)	—	—	22,667,473
III 連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	6.6	14.0	20.6

(注) 1 本邦以外の国又は地域の区分は地理的近接度によっております。

2 本邦以外の区分に属する国または地域

東南アジア……………香港・台湾・シンガポール

その他地域……………アメリカ・イギリス・中国

3 海外売上高は当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。